

# DIGITAL GOVERNMENT

## デジタル・ガバメント 推進広域研究会の 発足について

2020年11月4日

神奈川県横須賀市

広島県呉市

長崎県佐世保市

京都府舞鶴市

トッパン・フォームズ株式会社

## 背景

今般のコロナ禍では、国・地方自治体を通じて情報システムや業務プロセスがバラバラでデータが十分活用できないなど、行政のデジタル化の遅れが目立った。地方自治体が自ら利用者視点に立ち、既存の業務プロセスを見直すことが喫緊の課題。

## 本研究会発足の目的

- 既存の業務を根本から見直し、業務プロセスを整理することで、自治体職員の生産性の向上と業務負担の軽減を図る。
- 複数自治体間で業務プロセスを調査分析・検証することで、業務プロセスの標準化を図る。
- BPM※1メソッドを活用した業務改善モデルの有用性や、業務プロセスの標準化の実現に必要なデジタル技術活用方法について調査分析・検証を行い、デジタル・ガバメントを推進する。

※1. BPM（ビジネスプロセス・マネジメント）とは、複数の業務プロセスや業務システムを見直し、最適なプロセスに統合・制御・自動化しながら改善を続けていくための手法です。

**「地方自治体行政事務」における「効果的な業務進捗管理」を実現するため、以下の事項についてWeb会議形式を中心に検討を行う。**

- **業務プロセスに関する業務の現状（AS-IS）調査、あるべき姿（TO-BE）分析**
- **デジタル化範囲検討**
- **BPMS※<sup>2</sup>を活用した業務プロセス改善モデルのプロトタイプ開発、有用性検証**

※2. BPMSとは、BPMの実行を支援する情報システムの総称です。

## 参加自治体・企業

神奈川県横須賀市 人口：39.3万人



広島県呉市 人口：21.9万人



長崎県佐世保市 人口：24.4万人



京都府舞鶴市 人口：7.9万人



トッパン・フォームズ株式会社

TOPPAN FORMS

## それぞれの役割

## ■ 横須賀市/呉市/佐世保市/舞鶴市

旧軍港4市の広域連携を活かし、複数の地方自治体の生活保護業務を調査分析・検証し、業務プロセスを標準化。

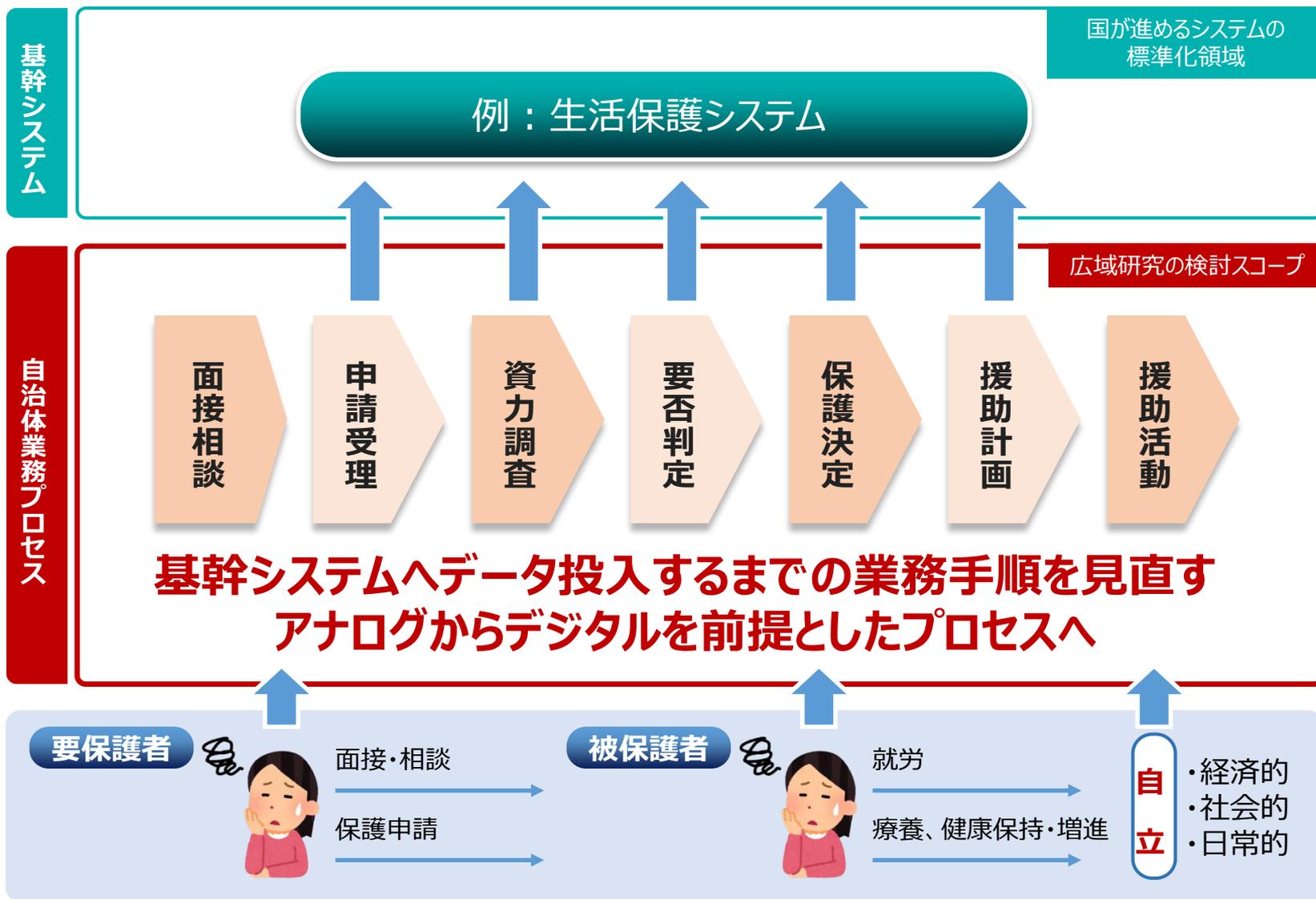
## ■ トッパン・フォームズ株式会社

BPMメソッドを活用した業務改善モデルの有用性を分析・検証し、デジタル技術を活用した生活保護業務の効率化・自動化を支援。

## 運営協力

廣川 聡美 氏（総務省地域情報化アドバイザー/元横須賀市副市長）

池谷 秀登 教授（立正大学 社会福祉学部）



## 自治体業務プロセス

